

2023年7月1日発行

第630号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの命をまもりつけたい~
広島県環境保健協会

佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>



専門研修 防災・減災コース開催 「ジブンゴト化」「まずは自助」をテーマに

5月25日・26日、専門研修「防災・減災」コースを開催し、9市町公衛協から16人が参加しました。

今回は、日本赤十字社広島支部と連携して研修を実施しました。

テーマは、災害をジブンゴトにする、「自助」により自身や身近な人を守ることでした。

研修は、公衛協のうつ

の役割を振り返った後、

日本赤十字社が提供し

ている複数のプログラム

を体験しました。

救命救急法とAED

の研修では、人形を使

た心肺蘇生法とAED

の装着などの訓練を行

いました。

かなり実践的な内容

で、通報から救急車が到

着するまでの平均時間

の約9分間、参加者が交

代しながら心肺蘇生を

継続し、AEDの装着を

するなどの連の流れを

体験しました。

救命救急法とAED

の研修では、人形を使

た心肺蘇生法とAED

の装着などの訓練を行

いました。

かなり実践的な内容

で、通報から救急車が到

着するまでの平均時間

の約9分間、参加者が交

代しながら心肺蘇生を

継続し、AEDの装着を

するなどの連の流れを

体験しました。

救命救急法とAED

の研修では、人形を使

た心肺蘇生法とAED

の装着などの訓練を行

いました。

かなり実践的な内容

で、通報から救急車が到

着するまでの平均時間

の約9分間、参加者が交

代しながら心肺蘇生を

継続し、AEDの装着を

するなどの連の流れを

体験しました。

救命救急法とAED

の研修では、人形を使

た心肺蘇生法とAED

の装着などの訓練を行

いました。

かなり実践的な内容

で、通報から救急車が到

着するまでの平均時間

の約9分間、参加者が交

代しながら心肺蘇生を

継続し、AEDの装着を

するなどの連の流れを

体験しました。

救命救急法とAED

の研修では、人形を使

た心肺蘇生法とAED

の装着などの訓練を行

いました。

救命救急法とAED

の研修では、人形を使

た心肺蘇生法とAED

の装着などの訓練を行

**10市町14事業に
120万円の助成**

増加する共助井戸の取り組み

当協会では、環境と健康をテーマにしたコミュニケーション活動を支援する一環として、地域活動支援基金を活用した「環境と健康のコミュニケーション活動助成事業」を実施しています。

て総額約120万円の助成を行うことを基金運用委員会で決定いたしました。今回は、助成する事業の概要を紹介します。

【環境づくり】

「花いっぱい運動」をテーマに、①竹原市竹原地区（来須）、②府中市川原町、③府中市元町地区、④三次市酒屋地区、⑤三次市の5公衛協が活動されます。植える花は黄スイセンやヒマワリ、パンジーなどさまざままで、土手や通学路など、住民の目に触れやすい場所が選定されています。

津野学区がアサギマ
ダラという蝶を呼ぶ
ためにフジバカマを
植えたり、福山市有
磨学区が歴史的資源
である砂留とその周
辺整備を行うなど、
地域性に富んだ活動
が展開されます。

【健康づくり】

大崎上島町では、
歯周病をテーマに口
腔保健に関する講演
会を開催します。講
演会前に町民にアン
ケート調査を行い、
その結果を基にした

は、竹でプランターやぶ)を作つて竹藪(たけ組みます。また三次市では、今年開催される女子野球ワールドカップに合わせて、会場周辺を花で彩り、おもてなしをする予定です。



廿二市市では、市内にある四季が丘市民センターの窓に内窓や断熱材を設置して、エネルギー削減と普及啓発を行います。内窓や断熱材の設置は、専門家の指導のもとで地域住民（親子）が作業を行つう予定です。ゼロ力・ボンシテイ宣言を行つ

また、福山市本郷学区では、地元の急傾斜で滑りやすい登山道の環境整備を行ない、小学校低学年でも楽しめるハイキングコースづくりを目指す取り組みが行われます。

講演を行つたり、歯周病で苦しんだ体験談を話してもらうなど、工夫を凝らした講演会を開催することになりました。

A black and white photograph showing a group of six people seated around a long wooden conference table in a meeting room. All individuals are wearing face masks. The person on the far left is looking down at papers. Next to them, a man in a dark suit jacket and patterned shirt is gesturing with his hands while speaking. To his right, another man in a light-colored shirt is also gesturing. On the far right, a man in a white t-shirt with a logo is holding a small device to his ear. The table is covered with various papers, pens, and a water bottle. In the background, there's a large window on the left, a wall with vertical paneling, and a prominent white banner or sign on a stand. The banner has Japanese text and some English words, including "TEAM HATE おじさん" and "INK COFFEE".

て前年度の振り返りと今年度の活動について協議しました。

Eのひろしまの交流を深めることを目的に、年に3回、「学習・交流会」を実施します。

使いやすい教材を作成しますので、ご活用ください。

第2回は、窓の断熱ワークシートです。窓の断熱について、座学とドーヨ体験で学びます。既存の窓に内窓を設置することで断熱性能を上げ、光熱費の削減と、健康面のメリットなどを学びます。

永田征人様、力田まりな様から、「広島ガスにおける環境貢献活動と地域の皆さまとの「ミニューケーション」について」と題して、講演いただきました。

地域貢献活動の一環として、出張授業サイエンスショーや、体験型ショールーム(ガストポートア)の見学などをご紹介いただき、今後、TEAMが実施する学習会などを利用してできる資料や情報などをご提供い

方と意見交換をしました。今年度活動するテーマの情報交換のほか、各団体の悩みや疑問を他の協議会に相談しながら、今後の活動に繋げる機会となりました。

TEAM MATEひろしま総会開催

【報告】 3回の学習・交流会を予定

近年、公衛協活動のメニューとして取り入れられている「共助井戸」に関する取り組みが、府中町と海田町、福山市、廿

環境と健康の「ミニユーティ活動助成金」を活用し、さまざまな事業が展開されることで、公衛協の活性化につながることを期待します。

現状や課題をお聞きします。

6月中に5件のヒアリングを終えており、自治会加入率に係る課題、役員や会長職の後任の問題、野生鳥獣によるごみあさりや、田畠、人への被害が出ていること、募金の周知方法などさまざまなお話を聞きし

ています。
これからお伺いする公衛協の皆さまは、あまり身構えず、ざっくばらんに現状や感じている課題、当協会への要望をお聞かせください。

(地域活動支援センター)

ごみについて知り、考
えてもらうことを目的
であります。今回は、海
ごみについて、その丈夫さか
ら自然に分解されるよ
うになった海ごみ問題。
中でも、プラスチック
ごみは、海ごみの約9
割を占めるとも言われ
ております。長い時間を要するた
め、大きな問題となっ
ています。

6月4日に、ベイサ
イドビーチ坂をメイン
活用事例の紹介



ブース展示の様子

近年、環境問題の
一つとして注目されるよ
うになりました。

ごみについて、その丈夫さか
ら自然に分解されるよ
うになった海ごみ問題。
中でも、プラスチック
ごみは、海ごみの約9
割を占めるとも言われ
ております。長い時間を要するた
め、大きな問題となっ
ています。

展示や講座で啓発に活用 さまざまな標本をトランクに格納

海ごみをレジンで固め、ト
ランクに収納

①海ごみ標本BOX

このシリーズでは、当協会が貸し出しが行っている教材とその活用事例を紹介します。イベントでの出展や学習会など、みなさまの活動に活用していただけた幸いです。

会場として、ひろしま

「山の日」県民の集いが開催されました。

この集いにブースを出展さ

れた坂町公衆衛生推進

協議会に「海ごみ標本

BOX」をご活用いた

だきました。

このブースでは、「海

ごみ削減啓発パネル」

も併せて展示し、来場

者には海ごみ問題を学

習するテキスト（製作・

海洋ごみ問題ジブンゴ

ト化プロジェクトin

広島）の配布を行いま

した。

来場された方々は展示物を手に取り、興味深く見ていました。小学校の女の子からは「こんなにごみが捨てられているなんて許せない。帰ったらテキストをいっぱい読んで勉強します！」との感想もあり、海ごみ削減に

関する意識啓発ができるようです。

◇ ◇

「海ごみ標本BOX」は、海ごみ問題について視覚的に知り、学ぶことができます。地域の方々への海ごみ削減啓発などの際にぜひご利用ください。

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に『認証マーク』を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

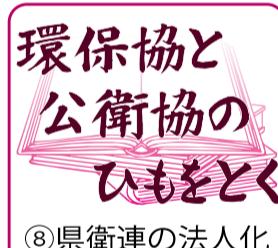


公衛協を正会員に社団法人化

ABCDコース研修で組織と人づくり

県衛連は、当初から法人化したいという願望を抱いていました。しかし、民法での条件が整備できず、やむなく任意団体として出発したのです。法人化については、内部からさまざまな意見が出されたものの、社会の信頼が得られることや税制面での優遇措置が受けられることなどを説明し、理解してもらいました。そして、1961(昭和36)年10月3日、それまでの実績が認められて念願の社団法人の設立が認可されました。

法人化した県衛連がまず取り組んだのは、「組織づくり」と「人づくり」でした。組織づくりでは、市町村公衆衛生推進委員や地区衛生組織活動を進めている団体(市町村公衛協)を正会員としたことで、県に頼



(⑧県衛連の法人化)

らず自立した活動ができる基盤をつくることができました。

人づくりでは、リーダーの役割が不可欠であることから、リーダー養成を目的とした研修をABCDの4コースに分け、体系的にそして段階的に進めることにしました。Aコースは「基礎研修」と呼び、公衆衛生推進委員手帳を用いて、推進委員の性格や任務、仕事の進め方などの理解を促しました。

Bコースは「体験交流研修」と呼び、リーダーが他地域の活動事例を体験することで、活動を活発化させるねらいがありました。Cコースは「管理運営研修」と呼び、幹部や事務局を対象に事業計画や収支予算など、組織運営のための基本事項を学ぶ研修としました。Dコースは、サマースクーリングの呼称で行っていた宿泊を伴う事例研究研修会を「環境保健夏季大学」として位置付けました。

これらの研修会は、内容を見直しながら今なお継続され、公衛協の人づくりや組織づくりに活かされています。(経営企画課 山下祐治)



委員の任務等を学ぶ基礎研修

今後は新たな認証制度にチャレンジ 認証取得で窓口拡大



(37) 倉橋島海産株式会社

登録日: 2023年3月27日
所在地: 岡山県倉橋島町1582-2(石持工場)
創業: 1962年(昭和37年)
話し手: 品質管理部 商品開発部長 奥田博 様(右)
品質管理部 小島綾夏 様(左)

本社では、広島県の食品自主衛生管理の認証を受けており、冷凍食品の生産ではHACCPを取得しています。このような状況で、新たに惣菜を生

理の認証を取ろうと思いました。認証をいただいて間もないのに、まだ目に見える成果といったものはありません。しかし、営業面において

製品をお届けするためにも、JFSS-B規格など、よりレベルの高いHACCPの取得にチャレンジしていきました。

(POSOP)を設営することでも、省力化する

とともに、カキ殻の混入を減らすなど、より安全・安心な商品の生産を心がけています。

産する石持工場を立ち上げました。他の業務で認証を得ているので

すが、惣菜工場に対しても外部認証はなかつたため、惣菜工場においても食品自主衛生管

認証を受けた工場で作られた製品ということ

で、大手企業など窓口が広がりました。今後、販路拡大によつて、より多くの方に

立された衛生管理のもとで安全・安心をお届けしています。確からいろいろな製品をつくり、みなさまにこだわって生産した力も、力を使つた冷凍食品や惣菜の生産、カキ醤の生産などを行つています。また、加工式の自動脱殻装置

もともとは養殖業者にはこだわっています。こだわって生産した力も、カキの品質にはこだわっています。確から始まったということもあり、カキの品質にはこだわっています。このように、力を使つた冷凍食品や惣菜の生産、カキ醤の生産などを行つています。また、加工式の自動脱殻装置

WEB「うちエコ診断」実施中

各家庭の実情に合わせた省エネアドバイス

家庭部門の温室効果ガス排出削減を進めるため、環境省では、各家庭の実情に合わせて実行性の高い省CO₂・省エネの提案・アドバイスを行う「うちエコ診断」を推進しています。

住まいやライフスタイルから、光熱費を減らせるところはどこか。どこから・どのくらい二酸化炭素が排出されているのか。などを知ることができます。

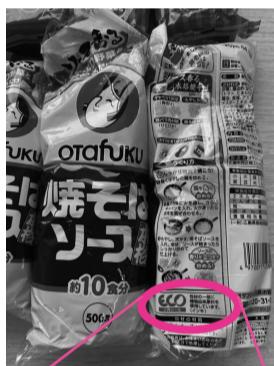
WEBうちエコ診断は、申し込みや予約が不要です。パソコン、スマートフォン、タブレット端末から右上記QRコードを読み取ってお試しください。利用料は無料で、簡単な結果は5分程度で分かります。

より豊かな生活を作るために、どんな工夫ができるのか、探ってみましょう。
(脱温暖化センターひろしま)

皆さまが、お買物の際や、サービスを選択する際に、環境にやさしい選択ができるような、情報を提供します。

今回は、オタフクソース株式会社の環境に配慮した取り組みを紹介します。

オタフクソースは、お好み焼きことだわりセットなど商品パッケージの一部の包装を廃止したり、包装資



包材の一部に
植物由来原料を
使用しています。
(イシナ)

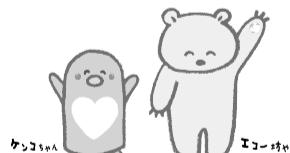
包装見直しで環境負荷低減 「お好み焼き」で食品ロス削減+

①【オタフクソース株式会社】

リジナルのエマーラー や取り組みが書かれていますのでチェックしてみてください。商品を選ぶ際は、環境負荷も考慮して選択してみましょう。

また、冷蔵庫の中にある食材でできる「お好み焼き」は、食品ロス削減に繋がる手軽な取り組みです。「お好み焼き」の食材は、キャベツだけでなく、レタスや小松菜、白菜などの野菜を使ってもおいしくできますのでお試しください。（脱温暖化センターひろしま）

令和5年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和5年度で64回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

7,641,562円
(令和5年度5月末実績)

環境協力に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【STOP！フレイル事業】

元気で活気あふれる地域づくりを目指して、講師派遣やグッズの提供を行います。各種事業の申請書は環保協のホームページからご覧いただけます。
(<http://www.kanhakyo.or.jp>)

（<http://www.kanhokyo.or.jp>）

- 保冷温ショルダーバック
ウォーキング事業を実施される場合
に、申請に応じて1回のみ提供。
(サイズ 320×120×260mm)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町		
海田町	990,000	46.7
熊野町		
坂町		
江田島市		
竹原市		
大崎上島町		
大竹市		
廿日市市	2,316,600	67.7
廿日市市大野		
廿日市市佐伯		
廿日市市吉和		
廿日市市宮島		
安芸太田町		

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町		
安芸高田市		
東広島市		
三原市	646,620	39.3
世羅町		
尾道市	1,202,000	27.9
福山市	2,427,870	28.3
府中市		
神石高原町		
三次市		
庄原市		
その他	58,472	86.8
合計	7,641,562	16.4

市町別一覧表

※この表は、各市町公衛協の令和5年度5月末日現在の実績額を記載しています。